

# 各区のふるさと会紹介 東京柿崎会

東京柿崎会会長

北井 浩

東京柿崎会は東京地区及び関東地区に在住している上越市柿崎区旧柿崎町出身者の会員相互の親睦を図る目的で昭和三十一年に第一回総会が開かれ、今年は第三十九回と続いている歴史のある会（総会は年一回）です。

又、旧柿崎町に縁故のある方、前記以外に居住する方も特別会員として参加いただいております。

現在会員数は四七〇名で、会員の構成は大正、昭和一ケタ、昭和二ケタ生まれで、年にすると八〇代から四〇代まで幅広くおられ、最近ではこの会としては若手に属する五〇代から六〇代の層が中心となりつつあり、世代交代も順調にしております。

総会は毎年五月中旬に開かれ、出席者は毎回一三〇名前後で、さらにいつもふるさと柿崎から多数の来賓が参加していただき盛大に行われています。

総会会場には七年前から始めた田舎の土産品（笹だんご、ちまき、お菓子、酒、漬け物等）のマーケットが開かれ、会員の方々にとって田舎の雰囲気懐かしく、おかげさまでほとんどの品物は売れ切れしてしまいます。

出席される会員からは予めお席の希望を聞かせていただき、出身地区、同級生、同窓生同志など同じテーブルを囲んで楽しく飲み、語らえるように配慮しております。

総会の内容は第一部 総会、第二部 懇親会となっております。こので行われる「抽選くじ引き」は四人に一人が当たり会員の方々に大変喜ばれています。

会場はここ数年「不忍池」のほとりにある「上野蓬萊閣」で開催していますが、新緑の上野公園を散策しようと早めに来られている方もおられます。

出席された方々の率直な想を聞いてみますと、

ますと、

「いつも東京柿崎会で兄弟三人会えるのがうれしい」 六十五才主婦 馬正面出身

「出身地区同志で円卓テーブルを囲んでお話ができるので楽しい、足がわるいのでテーブル席は有り難い」 八十四才主婦 住吉町出身

「なかなかふだんは会えないので、東京柿崎会を気の合った同級生の集まりにさせていたただいている。来年も楽しみにしている」 七十才主婦 出羽出身

「東京柿崎会で会おうと声を掛けているおかげで、同級生が毎回十数人は集まり、楽しい時間を過ごさせていたただいている」 六十一才男性 下山山出身

二年に一回、同じ出身地区の人達に会えるのを楽しみに三十年以上参加している」 八十八才男性 猿毛出身

「お互い元気でいようねと話しているが、今年も同じ顔ぶれが揃うとほっとして幸せを感じる」 八十四才主婦 川田出身

「今まで仕事が忙しく、前回初めて出席したが、普段会えない人にも会えたと、楽

しかったので、今年も参加した」 五十八才 小萱出身 などです。

出席される動機は色々ですが、旧柿崎町出身同志の東京柿崎会に、気楽に参加いただいているのが感じられ、幹事一同喜んでお世話をさせていただいております。

東京柿崎会の主だった世話役は次の通りです。

会長 北井 浩 (上町出身)  
副会長 箕輪 昭三 (荻の谷出身)  
副会長 曾田 光六男 (東谷内出身)  
幹事長 滝沢 信治 (上町出身)



東京柿崎会について、会員のお申し込み、お尋ねは左記事務局にご連絡ください。

事務局（連絡先）

滝沢 信治

電話 〇四八・八八七・三七八二

北井 浩

電話 〇四二・五七六・七三二二



(写真は今年の総会スナップ)